

変動気象にも負けない根張りの良い元気な苗を作しましょう！ 健苗育成による良質茎の早期確保で安定収量を確保しよう！

1. 播種

(1) 播種日

- ・コシヒカリは登熟初期の過高温による品質低下を避けるため、8月5日以降の出穂を目指しましょう。
- ・コシヒカリの出穂期が8月5日以降となるよう、田植日は5月10日以降とします。
- ・**5月10日以降の田植えにあわせて、播種日は4月20日以降にしてください。**

(2) 播種量 ～ゆっくり丁寧に播種しましょう～

1箱当り乾籾140g以下(催芽籾175g以下)の薄撒き均播に努めましょう。
※五百万石、ゆきみらい等の大粒品種は1割増しで播種してください。



140g播種
(催芽籾で約170g)



(参考)170g播種
(催芽籾で約210g)



(参考)200g播種
(催芽籾で約250g)

(3) 播種前のかん水 (かん水時の弊害)

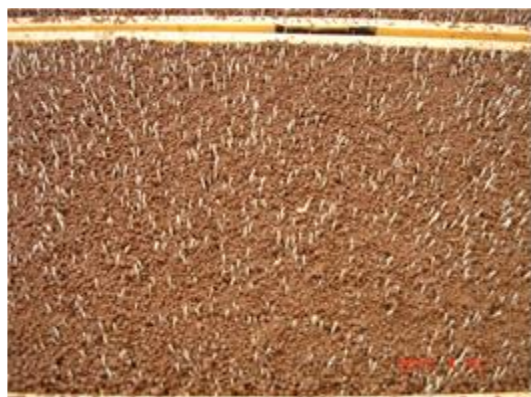
| | |
|-------|---------------------|
| かん水不足 | 床土乾燥・発芽不揃い・籾の浮き上がり |
| 水切り不足 | 積み重ねた下段の箱が過湿・酸欠をおこす |

2. 育苗ハウスの管理

ハウス内が30℃を超えたら必ず換気して下さい！晴天時は急激に温度上昇するので注意！

(1) 播種後～緑化終了期まで：ハウス内温度は(日中)25～30℃、(夜間)15～25℃

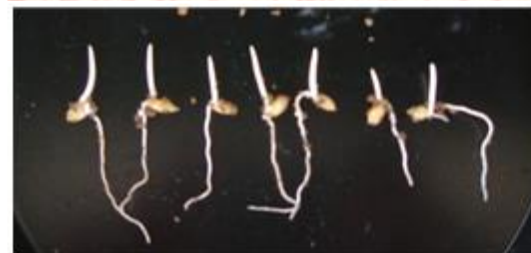
【出芽終了のめやす】



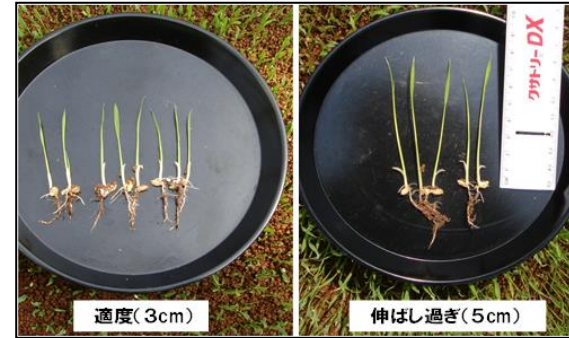
適度(0.5～1cm)



伸ばし過ぎ



(2) 緑化終了の判断と苗ヤケ防止：ハウス内温度は(日中)20～25℃、(夜間)15～18℃



茎の長さが3cmになったら育苗シートをとります。
※こしいぶき、ゆきみらい、あきだわらは苗丈が伸びづらいので緑化は1日程度長めにして苗丈を確保します。

“高温・高日射により苗ヤケの心配で迷った時は被覆資材をはぎましょう！”

※特に、年数経過により劣化した被覆資材や、ハウス天幕を新品にした年は、苗ヤケに注意！

(3) 硬化期の温度管理と水管理

| | |
|--------|--|
| 期間(目安) | 12～13日間 |
| 管理 | ①前半はこまめな温度管理、後半は霜や強風に注意し徐々に外気になります。 ②1日1回午前10時頃迄、後半は1日2回昼頃までにかん水しましょう。 ★夕方かん水すると育苗箱の床土温度が下がり、根張りが悪くなります。 午後3時以降のかん水は避けましょう！ |
| 温度 | 日中…15～20℃ 夜間…10℃以上 |

※注意※：プール育苗では気温が高いと水温が上昇して徒長しやすいので、換気に十分留意しましょう。
緑化が終了し、湛水した後は原則として昼夜ともハウスのサイドビニールを開放しましょう。

(4) 田植え前の追肥(苗の老化防止と田植え後の活着促進)

- ①専用肥料(何れか1資材)…「べんとう肥」360g/10a(18～23箱)を田植え4～5日前に散布します。または、「くみあい液肥2号」を270g/10a(18～23箱)をかん水。
※くみあい液肥2号は肥料ヤケを防ぐために、追肥は夕方に行い、その後、十分にかん水して下さい。

3. 本田の準備

- (1) 表面排水・・・**圃場排水に努め、田を乾かしましょう。**⇒ 移植後の活着が良くなります！
- (2) 均平化・・・高低差のある圃場は、整地キャリアなどで**均平化に努めましょう。**
- (3) 畦塗り・・・**畦からの漏水を防止しましょう。特に、ネズミ穴に注意！**
- (4) 農道・畦畔に除草剤を使用する際は、薬剤の使用基準を守り、丁寧に散布してください。(エコ・5-5運動「肥料・農薬使用基準」を必ず遵守してください。)

4. エコ・5-5栽培 基肥使用基準

(1)【分施肥系の基肥使用基準】

10a 当たりの上限となる施用量

| | ※越後の輝き有機50元肥 (N-P-K:10-13-10) | プレーパーペースト734 (7-3-4) |
|-----------|----------------------------------|-------------------------|
| | コシヒカリ・こしいぶき・こがねもち・五百万石 等 | 30kg |
| 「わたぼうし」のみ | 47kg | 67kg |

※令和6年度は移行期間として「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」は使用可です。それ以降は「越後の輝き有機50元肥」を主体に使用することとします。

(2)【全量基肥施肥の使用基準】

10a 当たりの上限となる施用量

| | 越後の輝き有機50ス・パ・元肥 (12-6-5) | 越後の輝き有機50ス・パ・元肥ロンク (12-6-5) |
|-----------|-----------------------------|--------------------------------|
| | コシヒカリ・こしいぶき・こがねもち・五百万石 等 | 47kg (早生品種用) |
| 「わたぼうし」のみ | 64kg | — |

5. 土づくり・耕起

- (1) 耕起では作土深15cmを確保し、根張り改善を図りましょう(回り耕ち、スタブルカルチ等)
- (2) 「完熟発酵ケイフン(イセ有機)」で地力アップを図りましょう!

・イセ有機の施用めやす: コシヒカリ3袋(45kg/10a)、こしいぶき5袋(75kg/10a)

◎特に砂質圃場等で地力が低く、例年倒伏が無い圃場では、耕起前に基肥を使用基準量上限まで散布し、さらに「完熟発酵ケイフン(イセ有機)、または、基肥や穂肥に「味好2号」、「フジミベレット731」、「みらい有機831」での補完をしてください。

- (3) ケイ酸質資材の散布で高温に耐えられる稲体にしましょう。

- ① みつパワー: 60~120kg/10a
- ② 粒状ようりんケイカル14号: 120~160kg/10a
- ③ ニュー米スター: 30kg/10a
- ④ マルチサポートFe: 40~60kg/10a
- ⑤ 農力アップ: 60~100kg/10a



※ごま葉枯れ病発生圃場や下葉が枯れ上がる“秋落ち”水田では、特にケイ酸質肥料や含鉄土づくり肥料(みつパワー、マルチサポートFe、農力アップ等)を散布しましょう。

6. 田植え

- (1) 好天日に田植えをし、活着を早めましょう。
- (2) 田植時期…コシヒカリは5月10日以降田植えが、エコ・5-5米の要件です。
※減収防止のため5月末までには田植えを終えましょう。
- (3) 栽植密度…コシヒカリ50株/坪(低地力で収量が少なく倒伏しない圃場は60株/坪)
こしいぶき等早生品種60株/坪以上
- (4) 植込本数…3~4本/株になるようツメを調整。※多苗植えは根が浅くなるので注意!
- (5) 植付深さ…2~3cm ※深植えすると活着・分けつの発生が遅れるので注意!

7. エコ・5-5用水田除草剤

| 薬剤名 | | 10a当たり 使用量 | 使用時期(農業登録) | |
|-------------|---------------|---------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 初期 剤 | ソルネット1キロ粒剤 | 1kg | 移植時~ルエ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後~移植前7日まで | |
| | エリジャン | 乳剤 | 300ml | 移植直後~ルエ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後~移植7日前まで |
| ジャンボ | | 300g | 移植直後~ルエ1葉期まで(但し移植後30日まで)、植代後~移植前7日まで | |
| 一 発 剤 | カウンシル エナジー | 1キロ粒剤 | 1kg | 移植時~ルエ3.5葉期(但し、移植後30日まで) |
| | | フロアブル | 500ml | |
| | | ジャンボ | 400g | 移植直後~ルエ3.5葉期(但し、移植後30日まで) |

- ※エコ・5-5栽培での注意
- ①ソルネット又はエリジャンは、何れか1つの剤型のみ使用できます
 - ②「コシヒカリ以外の品種」は初期剤を使用できません。

(1) 箱施用剤の施用【栃尾・山古志地区のエコ全品種】

| 適用害虫名 | 使用薬剤 | 使用量 | 使用方法 | 使用時期 |
|---|-------------------|---------|---------------------------|---|
| いもち病 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ | GP オリゼリディア 箱粒剤 | ※150g/箱 | 育苗箱の 苗の上から均一に 散布する。 | 緑化期 ~ 移植当日 (高密度は種の場合は 移植3日前~移植当日) |
| もみ枯れ細菌病 内穎褐変病 白葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ニカメイチュウ イナゴ類 イネカラバエ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ イネツトムシ | | | | 移植3日前 ~ 移植当日 |

※JA育苗センター苗は箱処理済みですので、ご注意ください。

※「高密度は種」の場合の使用量は、50g~100g/箱。(使用時期、適用病害虫等を確認の上、使用して下さい)

8. 公式LINEアカウントの変更

合併に伴い「JA 越後ながおか営農情報」から「JA えちご中越 ながおか地域 営農情報」にLINEアカウントが変わります!! つきましては、旧アカウントが廃止となるため、新アカウントの登録をお願いいたします。

ご登録はこちらから!!



「友だち登録」お待ちしております!!



お問い合わせ先: ながおか営農センター TEL: 0120-91-5882
とちお営農センター TEL: 0120-91-5885